

平成27年度事業報告書

奈良経済同友会

I 概括

平成27年度のわが国経済は、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を柱とする経済財政政策により、雇用・所得環境が改善し、原油価格の低下等により交易条件が改善する中で、緩やかな回復基調が続いた。ただ、28年に入ってから、雇用は堅調ながら、株式相場下落、円高、海外経済の減速を背景に設備投資の先送り懸念や個人消費の低迷などから、景気の先行き不透明感が増した。

一方、中小・小規模中心の県内産業は、個人消費や設備投資などの国内需要の低迷に加え、原材料価格の上昇、人手不足など先行きの厳しい経営環境が懸念され、不透明な経済環境が続いた。

このような中、当会は、10月に奈良市において「第113回西日本経済同友会会員合同懇談会」を開催し、総勢約400名の参加者を得て盛会裏に終えた。実行委員会の事前の綿密な準備に加え、会員全員の自発的な協力を得て、当会の心意気を県外からの参加者にアピールすることができた。一方、通常の例会活動においては、国・県などの社会インフラ・地域づくり、現役経営者の経営談、酒造りや大工道具などの県外見学会、プレゼンの秘訣、忘年会での落語会、新年名刺交換会、恒例の奈良女子大学との産学連携、中国に広がる知日ブーム、人気朝ドラのヒット理由など多岐にわたるテーマで見聞を広めるとともに、多くの参加者のもと、懇親会もあわせて開催し、おおいに交流を深めた。恒例の年頭所感では、「人が集まり定住するしくみを組み立て、魅力あふれる奈良県をつくろう」を提言活動目標とし、そのための方策として「奈良で住む魅力の向上」「奈良を訪れる魅力の向上」「奈良で企業活動する魅力の向上」の3つの切り口から奈良県活性化策について提言をまとめ年頭の記者会見で発表した。フォーラムでは、「清酒造り」「バーテンダー」「言葉あそび」など趣味・嗜好、文化など身近で奥の深いテーマで楽しむ一方、ロシア・サハリンへの視察研修、ゴルフ親睦会などで交流・懇親を深めた。また、会員の積極的な紹介を通じて会員増強にも努め、魅力ある同友会活動を継続的に推進した。

対外交流活動では、第28回全国経済同友会セミナー（金沢市）、第2回西日本経済同友会代表者会議（京都市）、全国経済同友会代表幹事円卓会議（福岡市）、京滋奈代表者懇談会（奈良市）への多数の参加を通じて、県外経済同友会会員との交流を深めた。また、関係経済諸団体と連携してリニア中央新幹線の東京・大阪間の同時開業、京奈和自動車道の整備促進など積極的に推進した。

以上本年の当会は、より多くの参加者と多彩なテーマの下、自主・自立の精神で、経営者が自らなすべきことを考え、実践的・具体的に議論し、志の高い政策集団として、地に着いた活動を展開した。

II 会合日誌

1. 総会

◎4月13日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. 議題

- ①平成26年度事業報告並びに収支決算報告承認の件
- ②平成27年度事業計画(案)並びに収支予算(案)審議の件
- ③事務局長交代の件
- ④第113回西日本経済同友会会員合同懇談会・奈良開催の件
- ⑤その他

1. 記念特別講演 於 奈良商工会議所会館5階大ホール

テーマ 「観光立国への道」

講師 星野リゾート代表 星野 佳路 氏

出席者 120名

1. 会員懇親会 於 奈良商工会議所会館会議室

出席者 71名

2. 特別幹事・正副代表幹事会

◎4月9日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. 議題

- ①事務局長交代の件
- ②その他

1. 出席者 11名

◎3月11日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. 議題

- ①第113回西日本経済同友会会員合同懇談会決算について
- ②平成27年度収支決算(着地見込み)について
- ③平成28年度収支予算(仮案)について
- ④役員改選について
- ⑤その他

・今後のスケジュール ほか

1. 出席者 9名

3. 幹事会

◎4月9日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. 議題

- ①平成26年度事業報告並びに収支決算承認の件
- ②平成27年度事業計画(案)並びに収支予算(案)審議の件
- ③事務局長交代の件
- ④第113回西日本経済同友会会員合同懇談会・奈良開催の件
- ⑤その他

1. 出席者 26名

◎8月24日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. 議題

- ①新規会員入会の件
- ②第113回西日本経済同友会会員合同懇談会・奈良開催の件
- ③その他
 - ・水森かおりを激励する会への後援・協賛について

1. 出席者 22名

4. 会計監査

◎4月6日 於 森田会計事務所

1. 出席者 3名

◎4月6日 於 三笠産業㈱会議室

1. 出席者 3名

◎4月7日 於 三和住宅㈱会議室

1. 出席者 3名

5. 例会

◎5月13日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. テーマ 「古に触れ、いまを深耕する」

1. 講師 フードコラムニスト 門上武司氏

1. 出席者 52名

◎6月15日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. テーマ 「地域を元気にする、地域の安全を守る」

1. 講師 国土交通省近畿地方整備局長 森昌文氏

1. 出席者 70名

◎7月15日 於 春日ホテル

1. テーマ 「出会いが人生を変える」

1. 講師 関西経済同友会 代表幹事 村尾和俊氏
(西日本電信電話株式会社 代表取締役社長)

1. 出席者 72名

◎8月26日 (特別例会)

1. 野球観戦 於 京セラドーム大阪・ロイヤルビスタルーム
オリックス vs 楽天

1. 参加者 19名

◎9月9日 見学会と講演

1. 見学先 白鶴酒造資料館 (神戸市)、竹中大工道具館 (神戸市)

1. 懇親会・講演 於 千房千日前本店 (大阪市)
講師: 千房株式会社 中井政嗣氏

1. 出席者 35名

◎10月7日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. テーマ 「シンプルプレゼンのテクニック」

1. 講師 ガー・レイノルズ 氏

1. 出席者 77名

◎11月24日

於 ホテル日航奈良・飛天の間

1. テーマ 「観光立県～これからの奈良～」

1. 講師 奈良県奈良県知事公室審議官・観光局次長・まちづくり推進局次長
中西康博氏

1. 出席者 64名

◎12月4日

於 ホテルサンルート奈良

1. 落語会と忘年会

1. 演目 「鹿政談」

1. 演者 桂米團治

1. 出席者 65名

◎1月18日

於 奈良女子大学

奈良商工会議所会館会議室

第1部 地方創生に対する大学・高専・企業の取り組みについて

・奈良女子大学（講演）

テーマ：『共創郷育：「やまと」再構築プロジェクト』がめざすもの

講師：奈良女子大学 やまと共創郷育センター長

研究院生活環境学系教授 藤原素子氏

・奈良工業高等専門学校（講演）

テーマ：「奈良高専の地域創生への取組

～COC+を通じた工学系高専の奈良県への貢献戦略～」

講師：奈良工業高等専門学校 COC+事業実施責任者

専攻課長 藤田直幸氏

・奈良経済同友会（講演）

テーマ：「南都銀行の地方創生に対する取り組みと奈良県内総合戦略について」

講師：株式会社南都銀行 公務・地域活力創造部グループ長代理 澤村弘氏

第2部 奈良女子大学の最新の研究成果について

テーマ：「健康長寿社会を目指した食と運動による代謝改善効果の検討」

講師：奈良女子大学 研究院生活環境科学系准教授 中田理恵子氏

懇親会

於 奈良商工会議所会館会議室

1. 出席者 99名（うち 当会59名）

◎2月15日

於 奈良商工会議所会館会議室

1. テーマ 「中国に広がる知日ブーム～なぜ中国人は日本が好きなのか～」

1. 講師 神戸国際大学教授 毛丹青氏

1. 出席者 69名

◎3月28日

於 奈良商工会議所会館会議室

1. テーマ 『「あさが来た」ヒットの理由は？』

1. 講師 NHK大阪放送局 制作部 エグゼクティブ・プロデューサー 佐野元彦氏
1. 出席者 61名

6. 経済講演会

(奈良商工会議所、奈良商工会議所友好倶楽部、奈良経済同友会 共催)

◎2月25日 於 奈良商工会議所会館大ホール

1. テーマ 「関西経済の現状と展望」
1. 講師 日本銀行理事 大阪支店長 宮野谷 篤氏
1. 出席者 90名 (うち当会 57名)

7. 合同新年名刺交換会

(奈良商工会議所、奈良経済産業協会、奈良県経済倶楽部、奈良商工会議所友好倶楽部、奈良経済同友会 共催)

◎1月6日 於 ホテル日航奈良

1. 出席者 800名

8. 合同新年記者会見

(奈良商工会議所、奈良経済産業協会、奈良経済同友会 共催)

◎1月6日 於 ホテル日航奈良

1. 出席者 20名

9. フォーラム

◎6月29日 於 新大宮6丁目横丁 (2Fにぎわい広場)

1. テーマ 「酒と三輪の歴史」
1. 講師 今西酒造株式会社 代表取締役 今西将之氏
1. 出席者 50名

◎11月2日 於 奈良ホテル (金剛の間)

1. テーマ 「バーテンダー」
1. 講師 奈良ホテル料飲部担当課長、『Tea Lounge』『The Bar』支配人
兼チーフバーテンダー 宮崎剛志氏
1. 出席者 48名

◎1月23日 於 ザ・ヒルトップテラス奈良

1. テーマ 「百人一首や落語に見る言葉のセンス」
1. 講師 リブコーポレーション 代表取締役 若狭芳生氏
1. 出席者 52名

10. 第113回西日本経済同友会会員合同懇談会実行委員会

◎5月15日 (第4回) 於 奈良商工会議所会館会議室

1. 議題
 - ①全体テーマ設定
 - ②案内パンフレット検討
 - ③合同懇談会開催要領詳細検討
 - ④エクスカージョン検討

- ⑤役割分担詳細検討
- ⑥開催までのスケジュール
- ⑦その他
 - ・特別会費徴収について

1. 出席者 14名

◎6月15日(第5回)

於 奈良商工会議所会館会議室

1. 議題

- ① パネルディスカッション内容検討
- ② 案内パンフレット検討
- ③ 合同懇談会要領詳細検討
- ④ エクスカーション検討
- ⑤ 役割分担詳細検討
- ⑥ 開催までのスケジュール
- ⑦ 参加申込受付等
- ⑧ その他
 - ・参加者増加対策

1. 出席者 20名

◎7月15日(第6回)

於 奈良商工会議所会館会議室

1. 議題

- ① 合同懇談会開催要領詳細検討
- ② パネルディスカッション内容・シナリオ検討
- ③ 産業展示・物産販売検討・確認
- ④ エクスカーション詳細検討・確認
- ⑤ 役割分担(人員配置)等検討・確認
- ⑥ その他
 - ・開催までのスケジュール
 - ・案内パンフレット確認

1. 出席者 20名

◎10月7日(第7回 最終)

於 奈良商工会議所会館会議室

1. 議題

- ① 舞台・会場進行スケジュールチェック
- ② 役割分担確認
 - 受付、誘導(会場内、会場外)、講師・来賓等接待
- ③ パネルディスカッションシナリオ確認
- ④ アトラクション確認
- ⑤ 出店(出展)関係確認
- ⑥ エクスカーション確認
- ⑦ 配席図、看板、案内図等確認
- ⑧ 当日配付物確認
 - (プログラム、参加者名簿、名札、袋、名前シール等、観光案内、提供品等)
- ⑨ 収支見込み
- ⑩ その他

1. 出席者 18名

11. 第113回西日本経済同友会会員合同懇談会

◎10月16日

於 なら100年会館
ホテル日航奈良

1. 懇談会 会場：なら100年会館
1. テーマ はじまりの奈良～世界に発信！和のころ～
1. オープニング 薬師寺 声明
1. 基調講演
テーマ 「7・8世紀の国際関係と奈良」
講師 菅谷 文則（奈良県立橿原考古学研究所 所長）
1. パネルディスカッション
パネリスト：辻村 泰善（真言律宗元興寺 住職）
岡本 彰夫（神主・帝塚山大学 特別客員教授）
上野 誠（奈良大学 教授）
田中 郁子（柿柿の葉すし本舗たなか 会長）
コーディネーター
田村 健吉（南都ビジネスサービス(株) 社長）

1. 懇親パーティー 会場：ホテル日航奈良

1. オープニング 金峯山寺流法螺の音用

1. 出席者 390名（うち当会114名）

<エクスカーション>

レディースコース（同伴者対象）：西大寺大茶盛体験と薬師寺写経体験等

奈良ナイトコース（懇親パーティー終了後）

A（奈良市内）コース：世界遺産の特別拝観と落ち着いた古都の思い出づくり

B（桜井・宇陀）コース：万葉を感じる薬草料理とそうめん手延べ体験

C（懇親ゴルフ）コース：生駒山と若草山を望む昭和32年会場の名門コース

12. 平成28年年頭所感起草委員会

◎11月18日（第1回）

於 奈良商工会議所会館会議室

1. 議題

①具体的な提言テーマの洗い出し

- ・地域創生（地域活性化、地場・観光産業の振興、スポーツツーリズム）
- ・働く場づくり（企業誘致、新産業育成）
- ・教育・医療の充実と地域の活性化
- ・高齢化と人口減少対策（コンパクトシティ、限界集落、交流人口増加）
- ・その他

②その他

1. 出席者 12名

◎12月4日（第2回）

於 奈良市ならまちセンター会議室

1. 議題

①具体的な提言骨子の絞り込みについて

1. 地域・地場・観光産業の振興

2. 教育・医療の充実と地域の活性化
3. 高齢化と人口減少対策
4. 住みたいまちづくり

1. 出席者 15名

13. 海外視察研修・サハリン（ロシア）

1. と き 5月26日～28日

1. 視察研修

- ・ユジノサハリンスク日本センター
- ・在ユジノサハリンスク日本国総領事館
- ・ユジノサハリンスク市内視察
- ・日系ビル建設工事現場

ほか

1. 参加者 23名

14. ゴルフ親睦会

◎6月6日

於 飛鳥カンツリー倶楽部

1. 出席者 31名

◎11月7日

於 グランデージゴルフ倶楽部

1. 出席者 19名

15. 京滋奈代表者懇談会

（京都、滋賀、奈良3経済同友会）

◎2月8日（第15回京滋奈代表者懇談会）

於 元興寺、奈良ホテル

1. 元興寺拝観

会議次第

1. 議題

- ①各経済同友会の主な活動について
- ②その他

1. 出席者 9名

16. リニア中央新幹線建設促進奈良県経済団体協議会共催事業

奈良県商工会議所連合会、奈良県商工会連合会、奈良県中小企業団体中央会、奈良経済産業協会、奈良県経済倶楽部、奈良県銀行協会、奈良青年会議所、奈良経済同友会、奈良市観光協会、奈良県ビジターズビューロー、奈良県バス協会、奈良県タクシー協会

◎7月3日

於 奈良商工会議所会館会議室

<リニア中央新幹線建設促進奈良県経済団体協議会・理事会>

1. 議事

- ① 平成26年度事業報告及び同収支決算について
- ② 平成27年度事業計画（案）及び同収支予算（案）について
- ③ その他

1. 講演会

テーマ 「リニア中央新幹線の現状について」

講 師 奈良県県土マネジメント 地域交通課

1. 出席者 21名

17. 京奈和自動車道建設促進関連

◎8月4日

於 奈良商工会議所会館会議室

<京奈和自動車道建設促進奈良県民会議・理事会>

1. 議事

- ① 平成26年度事業報告及び同収支決算報告について
- ② 平成27年度事業計画（案）及び同収支予算（案）について
- ③ その他

1. 出席者 17名

◎8月4日

於 奈良商工会議所会館5階大ホール

<京奈和自動車道建設促進県民会議・総会>

1. 議事

- ① 平成26年度事業報告及び同収支決算報告について
- ② 平成27年度事業計画（案）及び同収支予算（案）について
- ③ その他

1. 講演

テーマ 京奈和自動車道の進捗状況について

講 師 国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所長 若 尾 将 徳

1. 出席者 45名

18. 第13回産学連携のための経営者セミナー・懇談会共催事業

○奈良県大学連合

奈良教育大学、奈良女子大学、奈良先端科学技術大学院大学、奈良県立大学、奈良県立医科大学、帝塚山大学、天理大学、奈良大学、奈良産業大学

○県内経済諸団体

奈良県商工会議所連合会、奈良県商工会連合会、奈良県中小企業団体中央会、奈良経済産業協会、奈良県地域産業振興センター、奈良経済同友会

◎3月25日

於 奈良県立医科大学

教養教育棟1階 教養第2講義室

1. 講演

テーマ 「経営者のための知的財産活用による社内活性化法」

講 師 奈良先端科学技術大学院大学

研究推進機構教授（兼産官学連携推進部門長） 久 保 浩 三 氏

テーマ 「バイオストレスをテーマにした産学連携」

講 師 天理医療大学 医療学部長 稲 本 俊 氏

1. 懇談会

1. 出席者 40名

19. 全国経済同友会セミナー

<第27回>

◎4月16日～17日

於 石川県立音楽堂

<4月16日>

大会次第

1. テーマ 戦後70年。
地域活性化で日本の再生を。

1. 基調講演

テーマ 「21世紀：日本の再生、世界への貢献と地方の役割」

講師 近藤 誠一 前文化庁長官、近藤文化・外交研究所代表

1. 分科会討議

- ①地域社会の持続的な成長に向けて ②出生率UP・日本の次代の担い手をどう育むか
③日本を訪れる外国人旅行者を増やそう ④日本の精神性・匠に学ぶものづくり

1. 懇親パーティー

<4月17日>

1. 分科会報告

1. 総括挨拶 長谷川 閑史 経済同友会 代表幹事、武田薬品工業㈱ 会長
特別講演

テーマ：「金沢の不思議」

講師：村松 友視 作家、泉鏡花文学賞選考委員

1. 出席者 1,355名（当会20名）

<エクスカッション>

- ・同伴者向けエクスカッション（セミナー初日）レディースプラン
 - ・Aコース：百万石に花開く加賀の雅探訪
- ・懇親パーティー後の2次会プラン（セミナー初日）
 - ・Bコース：金沢茶屋街の夜を楽しむ
- ・同伴者向けエクスカッション（セミナー午前中）レディースプラン
 - ・Cコース：金沢の地と美への出会い
- ・セミナー終了後エクスカッション（日帰り）
 - ・Dコース：前田家ゆかりの史跡めぐりと金沢の台所
- ・セミナー終了後エクスカッション（日帰り）
 - ・Eコース：金沢21世紀美術館と匠の技に出会う
- ・セミナー終了後エクスカッション（日帰り）
 - ・Fコース：徳田秋聲、泉鏡花、室生犀星 三文豪で巡る近代文学史
- ・セミナー終了後エクスカッション（1泊2日）
 - ・Gコース：『加賀屋』おもてなしの心と長谷川等伯にふれる旅
- ・セミナー終了後エクスカッション（1泊2日）
 - ・Hコース：山代湯の郷めぐりと石川の伝統工芸探訪の旅
- ・セミナー翌日
 - ・Iコース：名門「片山津ゴルフ倶楽部：白山コース」での親睦ゴルフ大会

20. 第2回西日本経済同友会代表者会議

◎7月17日

於 ウェスティン都ホテル京都

代表者会議次第

1. 祇園祭巡行観覧

1. テーマ 地方創生に向けた、西日本経済同友会の取り組み

～国のあり方を問い、企業・経済界と地方自治体の一層の連携を進める～

1. 開会挨拶 (京都) 代表幹事 増田 寿幸 京都信用金庫・理事長
1. 司会 (京都) 代表幹事 増田 寿幸 京都信用金庫・理事長
(関西) 代表幹事 陰山 秀一 三井住友銀行・取締役副会長
1. 各地域からの発言
土佐、広島、神戸、九州、京都
1. 意見交換
・各地域からの発言を踏まえた意見交換
・共同アピールの検討
共同アピールの採択
1. 第113回西日本経済同友会会員合同懇談会 案内
(奈良) 代表幹事 山本 太治 三輪そうめん山本・社長
1. 閉会挨拶 (神戸) 代表幹事 成松 郁博 川崎重工業・常務執行役員
1. 懇親パーティー
1. 出席者 67名 (内当会3名)

2.1. 諸会議出席

※2015年度全国経済同友会事務局長会議

と き 9月10日～11日

ところ センチュリーロイヤルホテル (札幌市)

出席者 井阪英夫事務局長

※西日本経済同友会代表幹事会

と き 10月16日

ところ ホテル日航奈良 (奈良市)

出席者 山田善久・山本太治両代表幹事、井阪英夫事務局長

※全国経済同友会代表幹事円卓会議

と き 11月10日～11日

ところ ホテルオークラ福岡 (福岡市)

出席者 山田善久・山本太治両代表幹事、井阪英夫事務局長

※西日本経済同友会事務局長会議

と き 1月27日

ところ ザ・リッツカールトン大阪 (大阪市)

出席者 井阪英夫事務局長

III 会勢

1. 平成27年度役員・委員会委員

＜平成27年度役員名簿＞

代表幹事	山田 善久	大光宣伝(株)	取締役社長
代表幹事	山本 太治	(株)三輪そうめん山本	取締役社長
特別幹事	中野 重宏	(株)ホテルサンルート奈良	代表取締役会長
特別幹事	福本 良平	(株)福本設計	代表取締役会長
特別幹事	鳶川 安雄	(一財)南都経済研究所	理事長

副代表幹事	石井昌	東洋精密工業(株)	取締役会長
副代表幹事	田中郁子	(株)柿の葉すし本舗たなか	取締役会長
副代表幹事	脇本吉清	ワキ製菓(株)	代表取締役会長
副代表幹事	吉田裕	(株)大和農園ホールディングス	代表取締役社長
副代表幹事	北義彦	(株)南都銀行	常務取締役
幹事	朝廣佳子	(株)読売奈良ライフ	取締役社長
幹事	乾昌弘	(株)明新社	取締役社長
幹事	井村守宏	(株)イムラ封筒	代表取締役会長
幹事	植嶋修治	(株)植嶋	取締役社長
幹事	上田昌平	(株)レナ	代表取締役
幹事	植田英寛	(株)中和商事	取締役社長
幹事	卜部能尚	ウラベ木材工業	代表者
幹事	太田嗣郎	三和ゴム工業(株)	取締役社長
幹事	大歳清次	奈良信用金庫	理事長
幹事	角谷守啓	奈良交通(株)	常務取締役
幹事	菊池攻之	奈良トヨタ自動車(株)	取締役社長
幹事	黒田浩之	黒田会計事務所	所長
幹事	小西恵美	(株)丸和不動産	取締役社長
幹事	小西敏文	第一化工(株)	代表取締役会長
幹事	小山新造	小山(株)	取締役社長
幹事	近東宏佳	共同精版印刷(株)	取締役社長
幹事	佐藤典嗣	佐藤木材(株)	取締役社長
幹事	谷奥忠嗣	谷一木材(株)	取締役社長
幹事	谷野守弘	奈良中央信用金庫	専務理事
幹事	田村健吉	南都ビジネスサービス(株)	代表取締役社長
幹事	辻将央	大峰堂薬品工業(株)	取締役社長
幹事	出口悦弘	ディライト(株)	代表取締役会長
幹事	豊澤安男	奈良豊澤酒造(株)	取締役会長
幹事	中尾七隆	(株)中尾組	専務取締役
幹事	中村光良	中村建設(株)	取締役社長
幹事	萩原斗志弘	(株)萩原農場生産研究所	専務取締役
幹事	畠山晴衣	(株)サロンまき	取締役社長
幹事	藤田寿美子	学校法人ハルナ学園	理事長
幹事	松本喜久子	社会福祉法人白鳳会西大和保育園	理事長・園長
幹事	水谷豊	(株)あかしや	取締役社長
幹事	森川善隆	大和信用金庫	専務理事
幹事	森雅彦	DMG森精機(株)	取締役社長
幹事	森田康宏	ディテック(株)	代表取締役会長
幹事	森本俊一	三和澱粉工業(株)	代表取締役会長
幹事	吉田明史	(株)花の大和	取締役社長
幹事	吉田浩巳	(公社)まちづくり国際交流センター	理事長
監事	小林茂樹	三和住宅(株)	代表取締役会長
監事	林田壽昭	三笠産業(株)	取締役社長
監事	森田務	税理士法人森田会計事務所	代表社員

＜平成28年年頭所感起草委員会委員名簿＞

◎山田善久	大光宣伝(株)	取締役社長
◎山本太治	(株)三輪そうめん山本	取締役社長
石井昌	東洋精密工業(株)	代表取締役会長
田中郁子	(株)柿の葉すし本舗たなか	取締役会長
脇本吉清	ワキ製薬(株)	代表取締役会長
吉田裕	(株)大和農園ホールディングス	取締役社長
北義彦	(株)南都銀行	常務取締役
井村守宏	(株)イムラ封筒	代表取締役会長
上田昌平	(株)レナ	代表取締役
大歳清次	奈良信用金庫	理事長
角谷守啓	奈良交通(株)	常務取締役
小林茂樹	三和住宅(株)	代表取締役会長
近東宏佳	共同精版印刷(株)	取締役社長
佐藤典嗣	佐藤木材(株)	取締役社長
谷野守弘	奈良中央信用金庫	専務理事
田村健吉	南都ビジネスサービス(株)	代表取締役社長
中村光良	中村建設(株)	取締役社長
増田友宏	(株)春日ホテル	取締役社長
矢田浩司	(株)近鉄百貨店	常務執行役員店長
吉田浩巳	(公社)まちづくり国際交流センター	理事長

◎印は代表幹事

＜第113回西日本経済同友会会員合同懇談会実行委員会委員名簿＞

◎山田善久	大光宣伝(株)	取締役社長
◎山本太治	(株)三輪そうめん山本	取締役社長
石井昌	東洋精密工業(株)	代表取締役会長
田中郁子	(株)柿の葉すし本舗たなか	取締役会長
脇本吉清	ワキ製薬(株)	代表取締役会長
吉田裕	(株)大和農園ホールディングス	取締役社長
北義彦	(株)南都銀行	常務取締役
朝廣佳子	(株)読売奈良ライフ	取締役社長
乾昌弘	(株)明新社	取締役社長
植嶋修治	(株)植嶋	取締役社長
岡村匡倫	岡村印刷工業(株)	取締役副社長
角谷守啓	奈良交通(株)	常務取締役
上武建一	上武建設(株)	代表取締役副社長
佐藤典嗣	佐藤木材(株)	取締役社長
田村健吉	南都ビジネスサービス(株)	代表取締役社長
津秦幸生	ホテル日航奈良	総支配人
鐵東敦史	(株)エヌ・アイ・プランニング	取締役社長
出口悦弘	ディライト(株)	代表取締役会長
中村光良	中村建設(株)	取締役社長
萩原斗志弘	(株)萩原農場生産研究所	専務取締役
水谷豊	(株)あかしや	取締役社長

山本哲也	三和製菓(株)	取締役社長
井阪英夫	奈良経済同友会	事務局長
◎印は代表幹事	○印は実行委員長	

2. 入退会者

◎新入会者 (※印は再入会)

西辻正副	奈良学園大学	統括副学長 (27.4)
山本浩扶臣	(株)近畿ファーム	代表取締役 (27.6)
阪田文彦	福井水道工業(株)	代表取締役 (27.10)
※今西将之	今西酒造(株)	代表取締役 (27.10)
田尻忠義	(株)楓工務店	代表取締役 (27.10)
村島康基	村島硝子商事(株)	代表取締役 (27.10)
北村ひとみ	アスカ工業(株)	代表取締役社長 (27.10)
角田正之	(株)伸芽教育	代表取締役 (27.11)
松本健澄	アルファーホーム(株)	代表取締役 (27.12)

◎交代入会者

池添誠	大和証券(株)	奈良支店長 (27.4)
向井徹	日本電気株式会社(株)	奈良支店長 (27.4)
小牧憲央	(株)ドコモCS関西	奈良支店長 (27.4)
鈴木貴宏	(株)みずほ銀行	奈良支店長 (27.4)
中村博樹	どんぐり学園	園長 (27.5)
橋本敬子	どんぐり学園	主任 (27.5)
矢田浩司	(株)近鉄百貨店	取締役常務執行役員店長 (27.6)
北澤雅文	奈良生駒高速鉄道(株)	代表取締役社長 (27.6)
鳶川安雄	(一財)南都経済研究所	理事長 (27.7)
田村健吉	南都ビジネスサービス(株)	代表取締役社長 (27.7)
大野昇	西日本電信電話(株)	奈良支店長 (27.7)
五十嵐晃	(株)奈良ホテル	代表取締役社長 (27.7)
梅田貴弘	(株)渋谷	取締役社長 (27.7)
林正己	セコム(株)	奈良統轄支社長 (27.8)
菊岡洋之	(株)本家菊屋	代表取締役社長 (27.9)
山上武宏	(株)山上組	代表取締役 (27.9)
多田和子	(株)きらら西田きもの工芸	代表取締役 (27.9)
鐵東貴和	セレミューズ(株)	代表取締役 (27.9)
安部正明	みずほ証券(株)	奈良支店長 (28.2)
丹羽亮太	日本生命保険(相)	奈良支社長 (28.3)

◎退会者

吉川清好	ダイヤコスモ(株)	代表取締役 (27.4)
小西敏文	第一化工(株)	代表取締役会長 (28.3)
森和俊	(社福)愛和会	理事長 (28.3)

3. 平成27年度末会員数

164名

IV 資料

平成27年度事業計画

奈良経済同友会

大幅な円安の進行や昨春の消費増税などによる景気停滞から抜け出し、明るい陽ざしが見えてきた現在、今こそ、経済成長路線をより確実なものにしていかなければならない。

中小零細企業が大半を占める地域経済は、原材料高・電力高、東京一極集中、人手不足、海外移転、産業構造の変化など依然厳しい局面にある。今後、経済のグローバル化や労働力人口減少に伴う雇用確保・人件費上昇などの諸問題を乗り越え、持続的成長につなげ、地域経済の確かな担い手として独自の戦略と自主・自立の精神で急激な時代の変化に即応していく必要がある。

われわれ経営者はいつの時代にあっても常に新たな飛躍に向けて、自らが成長の牽引役として、絶えざるイノベーションの創出による競争力の強化、優れた人材とそれを活用するリーダーシップおよびマネジメントのもと、新たな成長を目指し、リスクをとって果敢に挑戦していくことが肝要である。

このような認識のもと、われわれ企業経営者が相互に切磋琢磨しながら、地域の発展を願い、地域の立場に立って考えながら、倫理観の高い経営に心がけ、高い志と時代を見通した先見性と実行力により、新しい時代にふさわしい経営の在り方を追求するために次のように事業計画を策定し、実行する。

<事業計画>

I 魅力と意義のある「例会」等諸活動の実施

- (1) 「話題の経営者」や「タイムリーなテーマ」での講演会・意見交換会・懇親会の開催。移動例会をも含め最適地での例会の実施
- (2) 企業見学、先進地域の見学と県外経済同友会との交流会の開催
- (3) 若手経営者の交流・研鑽、後継者育成の場としての「フォーラム」の開催
- (4) 会員相互の親睦を広めるため、ゴルフ親睦会など多彩な交流会の実施
- (5) 海外視察研修の実施

II 「行政との懇談会」の実施

- (1) インフラ整備、地域経済産業振興、医療政策、観光活性化など地域の活性化をテーマに奈良県幹部等との意見交換会の継続的実施

III 「研究」「提言」活動

人口減少を食い止め地域の活力を向上させるための方策に関して、次の項目に関する「研究」および「提言」活動を行う。

- (1) 滞在型観光、スポーツツーリズムやインバウンドなど新しい観光潮流を生かした地域の活性化
- (2) 働く場づくり、地域を支える人材づくりの確保、人口減少に対応した地域づくり

(3) 道路等交通インフラの整備

IV 「ホームページ」の充実

(1) 活動報告や企業紹介などを通じた情報発信の充実・強化

V 同友会の存在価値を高めながら長期的視野にもとづく会員増強

VI 第113回西日本地区経済同友会会員合同懇談会の開催（平成27年10月）

VII 「ネットワーク」活動

- (1) 京都・滋賀・奈良3経済同友会で組織する「京滋奈代表者懇談会」の充実
- (2) 5府県市（京都府・滋賀県・三重県・奈良県・京都市）、3商工会議所（京都・大津・奈良）、3経済同友会（京都・滋賀・奈良）による「京滋奈三・広域交流圏研究会連絡会議」の開催
- (3) 全国経済同友会セミナー、西日本経済同友会代表者会議、西日本経済同友会会員合同懇談会などへの積極的な参加と大学、関係諸経済団体との連携の強化

VIII 関係諸経済団体との連携のもと、リニア中央新幹線の東京・名古屋・大阪間の同時開通と京奈和自動車道の整備促進

IX 事務局体制の整備・強化

- (1) 事務局の事務効率化及びデジタル化
- (2) 会員との連絡体制の緊密化

以上

平成28年1月6日

平成28年年頭所感

奈良経済同友会

代表幹事 山田 善久

代表幹事 山本 太治

わが国の景気の現況をみると、円安や原油安による押し上げで企業収益が拡大したものの、中国はじめ新興国景気の減速により生産活動が停滞し、消費者マインドが悪化、設備投資が減少するなど、強弱入り交じり足踏みの状況となっている。

今後については、企業収益が総じて堅調に推移するほか、低金利が続くなど設備投資環境も良好な状況が続くことや、堅調な企業収益と人手不足を背景に所得環境も改善傾向が続くことから個人消費も堅調に推移すると見込まれ、おおむね自律的な回復軌道をたどるものと予想される。

このように景気の先行きはやや明るさを取り戻すことが期待されるものの依然として不透明感が

残る状況のなか、我々、奈良経済同友会は、平成28年の年頭に当たり、県内民間企業の政策提言集団として、下記の提言活動目標を掲げ、奈良県の活性化のため、活動を展開していくこととする。

記

■平成28年の提言活動目標

「人が集まり定住するしくみを組み立て、魅力あふれる奈良県をつくろう」

1. 提言活動目標の趣旨

奈良県総人口は、1999年にピークの145万人に達して以降、直近（2015年10月1日現在）では137万人へと減少している。さらに、2060年には84万人を下回ると推計（奈良県推計）されており、今後も長期にわたり人口減少することが確実視されている。また、生産年齢人口（15歳以上65歳未満）についても、少子化に加えて、若年人口の県外流出などから、今後さらに減少が進むと懸念されている。一方、将来の若年女性人口減少により奈良県内の半数近くの町村が2040年には「消滅可能性が高い」自治体として数えられており、奈良県における人口減少問題がいかに大きいかを示している。

人が集まるところにまちができ、経済・産業が興り発展する、また、経済・産業が発展するところに人が集まるという意味からすれば、奈良県における人口減少は今後の奈良県の衰退を示唆しているようにもみえる。地域の活力を維持向上させるためには、いかに今後の人口減少を食い止め、地域のにぎわいを創出していくかが問われているものといえよう。

奈良経済同友会では、人口減少問題の重要性に鑑み、昨年に引き続き「人が集まり定住するしくみを組み立て、魅力あふれる奈良県をつくろう」を提言活動目標とし、奈良県の活性化を目指していくこととした。

2. 「魅力あふれる奈良県をつくる」ための3つのポイント

奈良県の活性化を目指し魅力あふれる奈良県をつくっていくため、次の3つのポイント（「奈良で住む魅力の向上」「奈良を訪れる魅力の向上」「奈良で企業活動する魅力の向上」）を切り口としてその方策を考えていく。

（1）奈良で住む魅力の向上

まちのにぎわい、経済・産業の活性化にとって、その大前提となるのは、そのまちに住む人の数、すなわち定住人口であろう。人口減少時代に入った現在、奈良で住む魅力を向上させることが定住人口の維持につながり、その将来を大きく左右することになると考えられる。

奈良で住む魅力を向上させる方策を考えるにあたっては、次の3つがキーワードになるだろう。

① 出産・子育てしやすい

奈良県女性の合計特殊出生率は1.27（2014年）と、東京、京都に次いでワースト3位で、奈良県では次世代の担い手となる子供が生まれにくい状況となっている。この背景には、奈良県の核家族率が64.1%（2010年国勢調査）と全国一高いことや男性の帰宅時刻が19時45分（同）と全国一遅いことなど、他府県に比べて困難な子育て状況にあることがうかがえる。また、これらが専業主婦率の高さの一因にもなっており、女性の就業率の低さにつながっている。

定住人口を確保するためには、まず第一に奈良県において出産・子育てをしやすい環境をつくる

ことを考えていくべきである。企業、行政は協力して奈良県で子供を産み育てる世代を支援していかなければならない。企業においては、男性の育児休暇取得の促進や、第二子・第三子の出産に対する支援など取り組めるところから考えていくこととしたい。一方、行政においては、出産・子育てに関してメリハリのきいた予算配分を行うとともに、奈良県独自の積極的な取り組みを要望する。出産・子育てに厚い支援を得られる県・市町村というイメージを県内外に定着させることができれば、住む魅力にもつながるものとする。

② 働きやすい

「働きやすい」ということは、換言すれば、住んでいるところで仕事が見つかり、日々の生活ができるだけの収入が得られることである。近年、若年人口の県外流出が続いているが、奈良県においては満足できる仕事や収入を得にくい状況にあるものと考えられる。若者が奈良県で仕事を見つけ安心して住めるようにするためには、今後も引き続き企業誘致を進めていくことが必要である。奈良県は優秀な人材の輩出県といわれるが、大学卒業後は県外就職が多く、県出身の優秀な人材の受け皿となる企業の誘致を併せて考えていきたい。

一方、女性や高齢者の働きやすさについても考える必要があるだろう。奈良県女性の就業率は全国最下位であるが、必ずしも就業の意欲や必要性が低いと捉えるのではなく、県内企業の今後の労働力の有力な供給源として位置付けていくべきものとする。そのためには、保育施設の充実や女性の短時間勤務正社員としての処遇など、女性の働きやすさに配慮した施策が行政や企業には求められよう。また、県内には、大企業等で長年経験を積み重ねスキルを磨いてきた退職者が増加している。こうした貴重な人材にそのマンパワー、スキルを活かして、県内の中小企業や学校教育などで活躍してもらおう方策を考える。そうすれば、本人の生きがいや企業のパワーアップにつながるのみならず魅力ある奈良県づくりにも貢献してもらえらるものとなるだろう。

③ 生活しやすい

奈良県は災害が少なく、県内には豊かな自然が残るなど、良質な住環境に恵まれている。県内には豊富な歴史文化資産が残る一方で、大阪や京都など大都市へのアクセスも良く新しい文化や生活スタイルを享受するという点でも、生活しやすい県といえよう。また、こうした点が評価され近年まで大阪などから多くの住民が流入してきた。しかし、経済情勢や人口構造の大きな変化に伴い、県南部・東部などでは過疎化が進むとともに都市部の郊外住宅においても住民の高齢化が進展し、これまでのような生活のしやすさが維持できにくくなっている。

生活のしやすさこそは定住人口の維持を考えていくうえで大前提となるものであるが、それぞれの年代や価値観等により「生活のしやすさ」はそれぞれ異なるものでもある。今後、県の南部・東部の過疎地対策はもちろんであるが、定住人口の維持という観点から、郊外住宅地（オールドニュータウン）の再生、買い物難民への支援、医療・介護サービスの充実などで都市部住民への支援対策の必要性が高まるものと思われる。

(2) 奈良を訪れる魅力の向上

奈良に住む魅力と並んで大切なのは、奈良を訪れる魅力である。奈良を訪れる魅力を向上させることで県外住民に奈良を訪ねたいと思ってもらい、交流人口の増加につなげていきたい。そのことにより経済効果も期待されるようになる。また、奈良にたびたび訪れることにより、より深く奈良の魅力を知ってもらえれば、定住への期待にもつながるだろう。

奈良を訪れる魅力を向上させる方策としては次の2点を考えたい。

① つなぐ観光

奈良は宿泊の伴わない通過型・日帰り型の観光地とよくいわれる。その原因のひとつには、奈良

を訪れる観光客に奈良の回り方が見えていないことが考えられる。奈良は奈良市内だけでなく、斑鳩、明日香、吉野をはじめ観光地が広域にわたっているのに加え、それぞれの観光地が観光地情報をバラバラに発信しており、奈良を訪れる観光客に「回りづらい観光地」とのイメージが定着しているように思われる。

今後、奈良への交流人口を持続的に増やしていくためには、観光客に「回りやすい奈良」というイメージを持ってもらう必要がある。行政、交通機関、社寺、飲食店、宿泊施設、土産物店などが訪れた観光客をバトンリレーするがごとく一体となって受け渡す「つなぐ観光」を考えていきたい。県内各観光地や観光関連業者が連携の手をつなぐことにより奈良県全体としての観光魅力がパワーアップされるものとする。

また、関西広域連合に奈良県が部分加盟したこととも関連して「関西の中の奈良」として他府県と「つなぐ観光」という観点からも奈良の観光のあるべき姿について模索を進めていきたい。

② 滞在型・時間消費型観光の推進

「奈良を訪れる魅力の向上」の核になるのは、やはり観光地のコンテンツであろう。奈良県には、豊富な自然や景観、社寺などの歴史文化資産、奈良のうまいものなど優れたコンテンツが多数あるが、多くの観光客は依然日帰り型・通過型観光にとどまっている。奈良県への経済効果を上げるためには、滞在型・時間消費型観光への誘導が不可欠である。ならまち（奈良市）や今井町（橿原市）など古いまちなみや県南部の洞川温泉や十津川温泉などの温泉地は、奈良県の滞在型・時間消費型の観光を進めるうえで重要な役割を果たすものとして期待していきたい。

（3）奈良で企業活動する魅力の向上

奈良県の活性化を考えるうえで、奈良県の企業活動に期待する部分は大きい。商品やサービスの提供、雇用の場の提供だけでなく、自治体への納税、社会貢献など地域社会の一員として大きな役割を担っている。人に対して奈良に住む魅力や訪れる魅力の向上をめざすのと並んで、企業に対しても奈良で企業活動する魅力の向上を図って奈良県の活性化につなげていきたい。そのための視点として、次の2点を考えたい。

① 道路交通インフラの整備

県内企業活動において、スムーズな物流や人の移動は業種を問わず重要なファクターである。昨年、京奈和自動車道大和・御所道路の一部が開通したが、県内南北道路の整備は今後も残っており、県内の企業活動を支えるため、また県外の有力企業を誘致するためにも京奈和自動車道を含め県内の道路整備は引き続き積極的に要望していきたい。

なお、誘致企業については、そのときどきの経済情勢に応じて世界的規模で立地を変えるグローバル企業よりも地域に密着し持続性のある中堅・中小企業や成長性のあるベンチャー企業が望まれよう。

② リニア中央新幹線の同時開業促進、奈良中間駅の早期一本化

2027年開業予定のリニア中央新幹線は大阪までの同時開業を強く要望する。これは奈良県のためだけでなく関西経済全体の浮揚のためであり、引き続き強力に要望活動をしていく。また、奈良中間駅については早期に一本化を図り、奈良ルートの現実的かつ具体的な要求としてとりまとめ関西全体で要望・発信していくことが望まれる。

以 上